ポイントためてます？

Molly Journal121
2008.4.30

時々、ジャーナルを書いている時に、アイデアは思いつくのですがそれが数年前使ったネタだと気が付くことがあります。（これほど号数が増えてくると）ネタの“ リサイクル ”を始めなければいけないかもしれません。今日の話題は過去に書いていないと思いますが、バックナンバーに戻ってチェックはしません。それは私の生活の中でとても大切なものなのですが、友だちはいつもそのことで私をからかいます。それは“ あるスーパーのポイントデー ”です。（なんと今日がその日です！）

日本に初めてきた時、アパートに前任の ALT が置いていったそのスーパーのポイントカードがありました。彼女は私に毎月 20 日、30 日はスペシャルポイントがもらえると書いてくれたメモを残してくれていました。最初は、これは私にとっては何の意味もありませんでした。食料品スーパーへは自転車で行っていて、自転車のかごにはたくさん入らなかったので、ポイントデーにはなおさらアメリカに住んでいた時のようなたくさんの買出しは全然できませんでした。しかし頭の片隅にはいつもポイントデーのことがありました。最初の年に両親が来てくれたとき、父にそのスーパーへ一緒に自転車で行ってくれるよう頼みました。そうしたら自転車二台分のカゴに食料品をいっぱい積み込むことができるからです。母の考えは「あなたたち、おかしいんじゃないの」でした。

今、私は車を持っているので、ポイントデーのストレスははるかに少なくなりましたが、やっぱり普通の日の食料品の買い物はできるだけ少なくおさえるようにしています。ポイントデーではない日に、お米のような高いものを買うのは、なんだか無駄な出費のような気がするからです。もしそれをスペシャルポイントデーに買ったなら、500 円クーポンがすぐにたまるくらい、もっといっぱいポイントをもらえるでしょう！私がポイントデーをとても真剣に考えているので友だちはからかいます。ある人は「500 円クーポンのためにそれほど躍起になってポイントを貯めるより、1 ヶ月に 500 円分買い控えるだけの方が簡単じゃないの」と言います。しかし私にとっては節約することだけが問題ではないのです。自分でもなぜたくさんポイントを貯めるのが楽しいのか分かりませんが、それが食事の計画や買い物をもっと楽しくしてくれるのなら、なにか不都合があるでしょうか？

ポイントは、スーパーが消費者にもっと買わせるための販促ツールにすぎないということは分かっています。このことを頭では分かっているんです。そして結局お金は貯まらず、実際ポイントデーにはもっとお金を使っているんだろうな、ということも分かっています。どういうわけか、私は買わずにいられないのです！アメリカで買いものをしていたどのお店にも、このようなポイントの取扱いはありません。特に食料品店では。特別なクレジットカードに付帯したような別のポイント制度はありますが、それは私には全くややこし過ぎます。日本でこのように何年間か暮らしてからは、毎月 20 日か 30 日を意識して、いつもちょっとわくわくしています。